



全国畜産縦断いきいきネットワーク

# 事務局通信 No.99

2023年10月27日

全国畜産縦断いきいきネットワーク事務局（公益社団法人中央畜産会）編集・発行

## セミナーのご案内

### 「つながりが新しい価値を生む畜産業のヒント」

いきいきネットワーク会員のみなさま

先日は大会等お疲れ様でした。

さて、本ネットワークの協賛会員である協同組合日本飼料工業会より、別添のとおりセミナーのご案内がございました。

オンラインでも参加できるようですので、興味のある方は是非ご参加ください。

本件問合せ先 全国畜産縦断いきいきネットワーク事務局

半田、押切、武田

TEL：03-6206-0843 FAX：03-5289-0890 メール：shien@sec.lin.gr.jp

\*\*\*\*\*

日本飼料工業会では、ハイブリッド形式で「つながりが新しい価値を生む畜産業のヒント」と題したパネルディスカッションを開催いたします。

モデレーターに法政大学の木村純子教授を迎え、酪農家、養鶏農家、多角化事業コンサルタント 3 人のパネリストがそれぞれの得意畜産業を軸として、地域が元気になる秘訣は何かについて、探ります。

普段知ることのできない興味深い話をたくさん伺える機会ですので、ぜひぜひ、ご参加をお待ちしています。  
お申し込みは添付のチラシをご覧ください。

-開催概要-

日時 2023 年 11 月 8 日（水）14：00～16：00  
場所 AP 浜松町 B1F N ルーム ※オンライン併催  
定員 120 名（WEB 配信 100 名・会場参加 20 名）  
主催 協同組合日本飼料工業会・一般社団法人全日本畜産経営者協会  
締切 2023 年 11 月 1 日（水）

【 問 合 せ 先 】  
協同組合 日本飼料工業会  
企画振興部 山下・安藤  
TEL 03-3583-8031

\*\*\*\*\*

# 第3回飼料・畜産研修会

## つながりが新しい価値を生む

### 畜産業のヒント

経済的な衰退や過疎化に直面する日本

畜産業を軸として、地域が元気になる秘訣とは。

新たなステージを迎えた畜産の未来は。

海外事例も参考に、日本の持続的発展を見据えた畜産業のステップを  
一緒に考えます。

日時: 2023年11月8日(水)14~16時 ※オンライン併開

場所: AP浜松町(東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館 B1F Nルーム)

対象: 畜産農家、飼料メーカー、飼料・畜産関係団体等

主催: 協同組合日本飼料工業会・一般社団法人全日本畜産経営者協会

申込: ① <https://forms.gle/JbZHhek58Yrf5TXX6>

② QRコード

③ メール [kikaku@jafma.or.jp](mailto:kikaku@jafma.or.jp)

しめきり  
11/1(水)まで



氏名・所属組織名・役職(部署)・電話番号・WEBか会場をご記入ください

 パネルディスカッション 

テーマⅠ. 畜産経営の現状課題と各々の展開状況

テーマⅡ. 日本の経済状況と市場からみる畜産

テーマⅢ. 新たな畜産の未来ステージ



## 木村 純子 (Kimura Junko)

法政大学経営学部教授

神戸大学大学院博士後期課程修了、博士(商学)。研究分野は地理的表示(GI)保護制度、テリトリーオ、地域活性化。農林水産省の地理的表示登録における学識経験者、財務省の国税審議会委員他。近著:木村純子・陣内秀信編著(2022)『イタリアのテリトリーオ戦略:甦る都市と農村の交流』白桃書房、木村純子・中村丁次編著(2022)『持続可能な酪農:SDGs への貢献』中央法規。



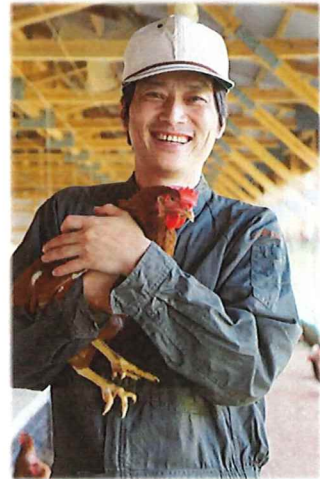
## 鈴木 敏文 (Suzuki Toshifumi)

鈴木牧場 代表

北海道十勝地方、広尾町で経産牛60頭、放牧酪農を経営。

2008年に家畜伝染病が発生し、多くの牛が命を落としたことをきっかけに、「病気にならないための飼育」を徹底。牛を第一にした循環型酪農のもと、持続可能な農業に取り組む。2014年に全国青年農業者会議農林水産大臣賞を受賞、2020年にサステナアワード2020実践賞を受賞。R3年 日本唯一「生乳・牛肉・鶏卵のJAS オーガニック認証」同時取得

R5年 日本第一号「日本グラスフェッド規格」取得



## 小原 利一郎 (Ohara Riichiro)

大江ノ郷自然牧場グループ 有限会社ひよこカンパニー 代表取締役

専門学校卒業後、県外の養鶏場で働くも、近代型養鶏に疑問を感じ、サラリーマンへ。その後、平飼い養鶏の夢を叶えるため、地元鳥取へと戻り、「大江ノ郷自然牧場」を創業。一個120円の「天美卵」として全国へと販売する傍ら、自然循環型農業へ取り組み、地域に根差した六次産業を推進する。パンケーキで行列ができる卵の専門店「ココガーデン」、農と食のナチュラルリゾートをコンセプトとする複合施設「大江ノ郷ヴィレッジ」、閉校を活用した里山リゾートホテル「OOE VALLEY STAY」を展開。山奥にありながら、2019年度には36万4千人以上のお客様にご来店いただく。鳥取の素晴らしさ・農と食の大切さを全国へ伝える使命のもと、日本一笑顔の集まる牧場を目指し、約200名のスタッフと共に、日々邁進する。



## 米田 大吉 (Yoneda Daikichi)

NPO法人 プラットフォームあおもり 理事長

慶応義塾大学卒。(株)西友で、人事情報管理・評価制度設計・能力開発プログラム開発者として従事。Uターン後、青森県企業の新商品開発・販路開拓・人材育成・雇用支援事業等に取り組む。2011年にNPO法人プラットフォームあおもりを設立し、現職。他、青森県生涯学習審議会委員、青森県人材還流政策連絡会メンバー、国立弘前大学教育推進機構講師、(株)リンクアンドブリッジ代表取締役等を兼任。金子ファームの多角化事業コンサルタントとしても活躍。